

「(仮称) 町田市子どもにやさしいまち条例」前文(案)に対する意見一覧  
【町田市子ども・子育て会議委員】

・いただいたご意見を集約しています。文言・表記の統一を行っています。

項番	委員名	意見	回答
1	吉永会長	①委員会では時間をかけて、意見を交換し、若者委員による「条例が子どもにとって“遠くないように”」という思いを大事にしながら内容を検討してきました。変更する場合は、委員会のメンバーが納得する方法で行いたいと思います。	①市としても、委員の皆様のご理解の基で検討を進めたいと考えております。 前文修正に至った経緯につきましては、改めて丁寧にご説明させていただきます。また、今後、頂いたご意見については検討をいたします。
		②条例の主人公は子どもであり、前文の主語は子どもであった方がよいと考えます。	②条例の主人公は子どもですが、「子どもにやさしいまち」は町田市が一丸となって目指すものであると考えております。
		③文字数を少なくしてわかりやすくするならば、「掲げるべきビジョン」や「実践する」といった表現は工夫が必要だと思います。	③ご指摘の内容を踏まえ、修正しました。
		④語尾は「・・・こと」で統一する方がリズムカルに読めます。改行も統一的に行った方が読み上げる際にはやりやすいです。	④ご指摘の内容を踏まえ、修正しました。
		⑤条例では市、保護者、事業者、施設関係者をあげていますので、市民や事業者から変更した方がよいと思います。	⑤「市」という表現は、町田市全体を指すのか、行政を指すのかがわかりづらいため、「市役所」に修正しました。 子どもがイメージしやすくするために「市民」という言葉にしております。 「事業者」については、5月14日に開催した「子どもの参画ミーティング」において子ども達に意見を聞いた結果、ある程度理解ができる言葉であり、代

1	吉永会長		替が難しかったため、修正して おりません。
		⑥「それは、何よりもおたがいが支えあう」は 「子どもが、みんなが、お互いがささえあうこ と」にするといいと思います。	⑥「支え合う」については、追 加要素であったため、「そし て」に修正しました。 あらゆる関係において支え合う ことが、特に重要であると考え ているため、「何よりもお互い が」という表現にしております。
		⑦最後の部分は、心がけるのではなく、「視点 に立ち」にした方がいいと思います。	⑦ご指摘の内容のとおり、修正 しました。
2	矢口委員	①「町田市は、「子どもの権利」が大人にも子 どもに認知されて定着し、「子どもの権利」が 守られて、かけがえのない大切な存在である 子どもが、人との関わりを通して成長してい けるように、「子どもにやさしいまち」を目指 します。」の文章に脱字があると思います。	①冒頭の「大人にも子どもにも 認知されて」の「も」が抜けてお りましたので加筆しました。
		②「なりたいまちの姿として掲げるべきビジ ョンは」の「ビジョン」の部分だけカタカナで あるため違和感を覚えます。「未来像」にした らどうでしょうか。	②全体的に文章を見直し、「ビジ ョン」を使わない文章としまし た。
3	笹生委員	①文体を詩のようなものにする、そのこ とについて否定はしません。うまくいけば、皆 の心に、頭に残るようなものになるだろうと 思いますし、当事者の子ども自身が読むこと ができるのは素晴らしいことですが、ひとつ の文章としてみた時に違和感があります。	①全体を見直し、修正しました。
		②やわらかい文体にしようとしたと思いま すが、「掲げる」「べき」「事業者」「実践」「連 帯」などという硬いイメージを持つ単語も使 われているので、非常にチグハグな印象を与 えると思います。	②ご指摘の内容を踏まえ、全体 的に修正しました。
		③3節目の 「……(省略)それぞれの立場で活動してい るまちであること それは、何よりもお互いが 支え合う 子どもにやさしいまち“まちだ”」	③「お互いが支え合う」につい ては、「それぞれの立場で活動して いる」に加えて必要な要素であ ったため、「そして」に修正を行 いました。

3	<p>笹生委員</p>	<p>の部分がわかりづらく、文のつながりに違和感があります。 「それは」が適していないように思います。</p>	
		<p>④ 1 節目の 「このちいき＝まちだ でのぞみ、目指す なりたいまちの姿として掲げるべきビジョ ンは 子どもにやさしいまち」 は「目指す」と「掲げるべき」のつながりが文 章表現として気になります。 「・・・目指すのは、 ・・・掲げるビジョンは、 子どもにやさしいまち」 のように対句的表現ならしっくりくると思 います。この場合も「べき」という語を入れない ほうが良いと思います。</p>	<p>④ ご指摘の内容を踏まえ、修正 しました。</p>
		<p>⑤ 子どもにやさしいまちに、「なる」のか「す る」のか、主語がわかりにくいと感じました。 まちが、そうなるために、ひとが、していくの だけれども、そのあたりが伝わりにくいと思 います。</p>	<p>⑤ 市では、子どもたちが意見を 言い、実行していることによっ て、子どもの意見が社会に反映 され、徐々に「子どもにやさしい まち」に「なる」と考えておりま す。</p>
		<p>⑥ 3 節目の 「・・・まちになるために ・・・まちであること」 の文末も気になります。</p>	<p>⑥ 詩的な表現にしているため、 前文(案)のような記載となっ ております。</p>
		<p>⑦ 2 節目の 「今から始める、実践する、実現する」 はもっとやわらかに変えられると思 います。</p> <p>個人的には好きなスタイルの前文ですが、今 回のをベースにして何度かリライトした 方が良いと考えます。このスタイルを通すの であれば、徹底的に文章を整えていかないと、 伝えたいものが伝わりきらない、中途半端な 前文のままで終わってしまう可能性も高い、 とわたし個人としては考えます。</p>	<p>⑦ ご指摘の内容を踏まえ、修正 しました。</p>

4	酒井委員	<p>2節目の「市はもちろん、市民や事業者～」の部分について</p> <p>①「市」という表現は、低学年あたりだと「町田市」だと読み取れないかもしれません。また、音声の場合「し」という音は聞きづらいのが気になりました。（「し」と「ひ」が似ている）</p>	<p>①ここでの「市」は行政機関を指していますが、市民や子どもが読んだ時に、行政機関をイメージしやすい、「市役所」に修正いたしました。</p>
		<p>②「事業者」は行政寄りの呼び方だと思うので、子どもたちが理解しやすい言葉に変えると思います。</p>	<p>②「事業者」については、5月14日に開催した「子どもの参画ミーティング」において子ども達に意見を聞いた結果、ある程度理解ができる言葉であり、代替が難しかったため、修正しておりません。</p>